

III. 社内外の評価及びご意見



第16回 九州電力環境顧問会

2017年2月15日に「第16回 九州電力環境顧問会」を開催し、当社の環境への取組みについて、様々なご意見をいただきました。環境顧問会での主なご意見とその対応方針についてご紹介します。

九州電力環境顧問会委員（50音順、敬称略）



あさの なおひと
浅野 直人
福岡大学名誉教授



おおつか まさお
大塚 政雄
環境省環境カウンセラー
(市民部門)



かど ひさよし
門 久義
鹿児島大学名誉教授



つる た さとし
鶴田 暁
環境テクノス(株) 会長



なが た こ
詠田 トキ子
NPO法人
みやざきエコの会理事長



はやせ たかし
早瀬 隆司
長崎大学大学院 水産・
環境科学総合研究科 教授



会議風景

(注)早瀬委員は都合により欠席されたため、別途ご意見をいただきました(顔写真は第14回(2014年12月)のものを使用)。ご所属は2017年1月末時点で記載しています。

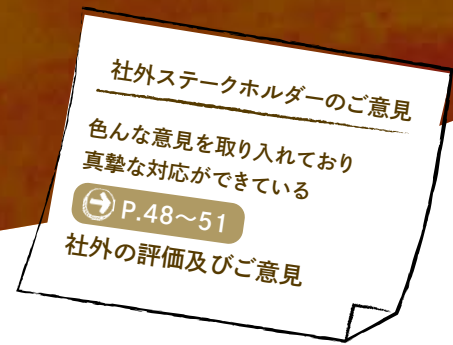
《 ご意見の概要と対応方針 》

主なご意見	今後の対応方針
<p>【家庭部門での省CO₂に向けた取組み】 ○家庭での省CO₂を促す取組みに着目した点は大きい評価できる。家庭からのCO₂排出量の類似家庭との比較はぜひ行うべき。省CO₂は行政も一生懸命行っているため、今後、構築を検討している省CO₂アドバイスツール*を広く活用してもらうためには、もっと行政や温暖化防止センターと連携し、市政だよりなどを通じて紹介することも必要となるのではないかと。 ※環境家計簿の機能を改善し、省CO₂に関するアドバイスも提供できるツール</p>	<ul style="list-style-type: none"> 省CO₂アドバイスツール(平成29年度上期システム構築、下期検証・運用開始予定)については、例えば、福岡県地球温暖化防止活動推進センター運営委員会を通じて福岡県の広報誌等での紹介ができないか相談・依頼を行うなど、自治体等と連携したPRを検討します。その際、2030年に向けて家庭部門で必要とされるCO₂排出削減量や、家庭でできる省CO₂への取組みについても、あわせて紹介していきます。

用語集をご覧ください

●環境家計簿

第16回 九州電力環境顧問会	48
環境アクションレポートの読者アンケート	50
エコ・マザー活動におけるアンケート	51
環境に関するお問い合わせ等への対応	51
社外評価	51



主なご意見	今後の対応方針
<p>【家庭部門での省CO₂に向けた取組み】</p> <p>○省エネは普通の生活を続けると2~3年後には限界があるので、上手に節電している家庭の好事例を発信していくと、家庭での徹底した省エネに向けて参考となる可能性がある。また、省エネが進んでいない家庭に対しては、家電製品を買い換えるだけでも省エネ効果が大きいことをPRすればよいのではないかと。</p> <p>○家庭用エアコンを取り外す際にフロンの回収が徹底していない現状や、フロンの地球温暖化への影響などを紹介するなど、CO₂以外の温室効果ガス（フロン）もPRの対象にすべきではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 省CO₂アドバイスツールを通じて、上手に取り組んでいる家庭の好事例を調査・整理するとともに、その好事例を各家庭に提供する省CO₂アドバイスの内容に反映するなど、各家庭への水平展開を支援します。あわせて、省CO₂アドバイスの中で、経済産業省が提供する最新の「省エネ性能カタログ」等を活用して、最新の家電製品への買い換えなどによる電力使用量・CO₂排出量の削減効果に関する情報提供を行います。 平成29年度上期末目途に、CO₂排出抑制に関する情報について体系化した特設サイト（CO₂ポータルサイト）を当社ホームページ上に立ち上げ、その中で、温室効果の非常に高いフロンガスの排出による影響、家庭用エアコン取替時にはフロン漏洩防止のため専門業者を通じた適切なフロン回収・処理が必要であること等を発信していきます。
<p>【情報発信の改善】</p> <p>○情報発信については、環境省でもよくホームページで発信しているが、ある程度、紙で啓発する方法の継続も有効。また、紙媒体はお客さまの手に届かなければ意味がないため、どう配るか工夫が必要ではないかと。</p> <p>○次世代教育に活用しているパンフレットについては、表題・テーマを「地球温暖化」としているが、「気候変動」を意識した内容にしてもいいのではないかと。気温が上がっていることよりも、それによる台風や洪水の増加などの異常気象の方が問題である。</p> <p>○啓発活動、地域貢献活動などの情報発信については、事業所のお客さま向け掲示板等、人通りがあるところに掲示することが有効であり、また、坊ガツルの野焼きなどの活動を8月11日の「山の日」に合わせてPRすると多くの方が見るのではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紙媒体での環境情報発信については、次世代（小学校高学年）を主な対象とする環境ダイジェストを、親子での参加が期待できる事業所オープンデー、Play Forestやくじゅう九電の森での環境教育とタイアップし、環境担当自ら説明・手渡しする機会を設けるなど、積極的な活用・配付を行い、その状況を把握します。また、環境ダイジェストの各記載項目近くにQRコードを貼り付け、レポートを含めたホームページの詳細情報をスムーズにご覧いただけるよう工夫していきます。 温暖化パンフレットは、小学生の温暖化への理解促進を図るため、気候変動により災害（ゲリラ豪雨、大型台風、夏の猛暑等）が多発している現状の紹介などにより、地球温暖化問題を身近に感じるような内容に改善していきます。 ホームページ、Facebook等での電子媒体による情報発信に加え、営業所の道路に面した掲示スペース等の社外の方の目につく場所にポスター（坊ガツルや耳川水力での環境に関する取組み）の掲示・PRを行います。
<p>【九電みらい財団】</p> <p>○坊ガツルでの野焼きをはじめとした環境保全活動は、大分・熊本などの一部の地域のためではなく、九州全体の価値向上に貢献していると実感できるようなPRの仕方が重要ではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 坊ガツル湿原は、国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されるなど、九州を代表する自然であることから、この保全に取り組むことは九州の財産を守ることであり、九州全体の価値向上に繋がることを、活動のお知らせや活動実施状況の発信の機会にPRしていきます。

📖 用語集をご覧ください

- フロン
- 地球温暖化
- 気候変動
- ラムサール条約